

氏名	高橋 恵子	部署	看護学科	職名	教授
研究分野	基礎看護学				
学位	博士（看護学）				
学歴	東京医科歯科大学医学部保健衛生学科看護学専攻卒業、 2001年聖路加看護大学大学院看護学研究科博士前期課程修了、2012年聖路加看護大学大学院博士後期課程修了				
経歴	1993 - 97年：聖路加国際病院、97 - 98年都立医療技術短期大学→都立保健科学大学、2001 - 05年：聖路加看護大学 2006 - 07年：聖路加看護大学21世紀COEプログラム研究員、2011-14年：聖路加国際大学看護実践開発研究センター 2014 - 21年：聖路加国際大学大学院看護学研究科（兼務：国際・地域連携センターPCC開発地域連携室） 2022年～埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科教授				
所属学会（役職）	日本看護科学学会、聖路加看護学会、日本がん看護学会、日本精神保健看護学会、日本遠隔医療学会、 日本ヘルスリテラシー学会				

【2022年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	厚生指標 小学校高学年児童における睡眠の質と心の連関の関連要因—関東圏内の市立小学校を対象に—	共著	あり	○	厚生指標 厚生労働統計協会,69(15),25-32	三森寧子、高橋恵子、朝澤恭子、有森直子、亀井智子、新福洋子、武内紗千、谷田恵子、池田雅則
2	市民と保健医療専門職が共に考える People-Centered Careパートナーシップの教材作成への取り組み	共著	なし		聖路加国際大学紀要,9,116-121	高橋恵子,中村めぐみ,有森直子,菱沼典子,亀井智子,麻原きよみ,射場典子,新福洋子,朝澤恭子,大森純子
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	優秀演題賞（実践） 市民と保健医療専門職が共に考える People-Centered Careパートナーシップの教材作成への取り組み	共同	第27回聖路加看護学会学術大会（オンライン開催）		○高橋恵子、有森直子、菱沼典子、中村めぐみ、亀井智子、麻原きよみ、射場典子、新福洋子、朝澤恭子、大森純子、田代順子	2022.9
2	People-Centered Care事業における市民と専門職のパートナーシップ尺度からみたメンバー特性による分析	共同	第42回日本看護科学学会学術集会（広島）		○高橋恵子、朝澤恭子、有森直子、亀井智子、麻原きよみ、新福洋子、大森純子、菱沼典子、田代順子	2022.12
3	養護教諭によるタッチングの目的と方法に関する文献検討	共同	第27回聖路加看護学会学術大会（オンライン開催）		川村真由、高橋恵子	2022.9
4	医療系大学が地域に開いた専門看護師によるがん相談の実践報告 ～共有意思決定支援に焦点をあてて～	共著	第27回聖路加看護学会学術大会（オンライン開催）		中村めぐみ、高橋恵子	2022.9
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	JANSpedia 掲載用語 市民中心のケア「People-Centered Care:PCC」	共著	JANS web https://scientific-nursing-terminology.org/ https://scientific-nursing-terminology.org/terms/people-centered-care/		○高橋恵子、亀井智子、大森純子、有森直子、麻原きよみ、新福洋子、朝澤恭子、菱沼典子、田代順子 ※用語記載文書を日本看護科学学会に著作権譲渡	2022.11
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会化学研究費補助金（基盤研究B）	市民と保健医療者が共に考える「市民主導型ケア」教材のグローバルスタンダード開発		研究代表者	2019.4～2024.3	

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	看護学原論		16	1年生対象：看護の基本的概念である看護・人間・健康・環境について学習することを目的とした講義である。主に2コマの授業を担当し、その他の授業ではグループディカッションへの指導に参与した。
2	看護方法Ⅰ		16	1年生対象：看護の基本技術の習得を目的とした講義・演習であり、主に演習時（バイタルサインの測定など）の指導に参与した（学生の思考を大切に、助言は学生の言動を確認してから対応した）
3	看護方法Ⅱ		16	2年生対象：日常生活援助の知識と技術の習得を目的とした講義・演習であり、主に演習時（ボディメカニクス・車いす移動など）の指導に参与した
4	看護方法Ⅲ		16	2年生対象：日常生活援助の知識と技術の習得を目的とした講義・演習であり、主に演習時（採血・注射など）の指導に参与した
5	看護方法Ⅳ		16	2年生対象：診断、治療過程にある人の理解と基本的技術の習得を目的とした講義・演習であり、主に演習時の指導に参与した。
6	看護方法Ⅴ		16	2年生対象：対象の状態に応じた看護を実践する力を目的とした講義・演習であり、主に演習時の指導に参与した。
7	看護過程論		16	1年生対象：看護過程の理解とその展開技術の習得を目的とした講義・演習であり、演習時のサポート・指導を行った。
8	大学院 看護教育論		6	大学院博士前期課程対象：看護に必要な学習理論、看護教育における教授－学習方法に適用するための基盤となる知識を獲得することを目的とした授業である。履修学生は、実際に教育計画案を作成し、模擬講義を行い評価する。その過程における指導を行った。
9	大学院 看護管理システム論		4	大学院博士前期課程対象：看護サービス提供システムの基本となる理論及びヒューマン・サービス組織の独自性を把握した管理運営の手法を学び、効果的な看護管理システムを構築する能力を養う目的の授業である。1コマチームビルディングの授業を担当し、まとめでは看護管理で学んだ理論、知識を活用し、事故の職場の課題とその対応策について院生が発表し討議するプロセスでの指導を行った。
10	川崎市立看護大学：サービスラーニング論Ⅰ		2	看護学科1年生：サービスラーニングの概念及び、サービスラーニングに必要な技術を身につけ、多様な考え方を学科目である。2コマを担当し、サービスラーニングの特徴と意義について、グループワークを用いながら進めた。
11	聖路加国際大学：PCCN論		1	看護学部1年生：PCCの導入に経緯を説明した。
12	聖路加国際大学：認定看護師教育課程		1	認定看護師：医療情報論 医療情報の収集と活用 ヘルスリテラシー
13	聖路加国際大学認定看護師教育課程（訪問看護師）：メンタルケア		1	認定看護師：地域包括ケアシステム チーム医療を促進するためのコミュニケーションを学ぶ科目である。授業内容は、アサーションに焦点を当てて、ワークを取り入れ、授業を進めた。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	IPW演習		16	3年生の演習指導：IPWの演習をリモートにて行う。学生間のワークが円滑に進むよう、適宜助言をしながら進めていった。また、学生の毎回のリフレクションシートにコメントをフィードバックした。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	基礎看護学実習Ⅰ		2023.2 1単位	1年生の臨地実習指導：埼玉メディカルセンターの病院実習（主に病棟見学）の学生担当および学内実習の実習指導を行った。
2	基礎看護学実習Ⅱ		2022.10 1単位	2年生の臨地実習指導：越谷市立病院の病棟において患者を受け持ち看護過程を展開をする学生の実習指導（2クール担当：1G5名×2回）
3	ヒューマンケア体験実習		2022.9 1単位	1年生の統合学習指導：6グループで構成する3チーム（30名）の担当学生の学びの統合を行った。※1チームは、2G学生10名に1教員が配置されたチーム

(4) 論文指導					
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	修士論文	2022.4～2023.3	主指導（指導教員）	名	副指導（指導補助教員） 1名
(5) その他					
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	川崎市立看護大学：非常勤講師	2022.4～2023.3	川崎市立看護大学のサービスラーニング論を非常勤講師として2コマ担当した。		
2	聖路加国際大学大学院看護学研究科：客員研究員	2022.4～2023.3	客員研究員として研究活動を実施：「市民のヘルスリテラシー事業」「PCC教材開発」に取り組んだ		
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月	
1	市民講座：健康情報の探し方、選び方、使い方を学ぼう！ヘルスリテラシー講座（9月）	聖路加国際大学ヘルスリテラシー学習支援プロジェクト	聖路加国際大学客員研究員として市民講座を開催：講師として、自分の健康を自分で創り守ために必要となる、基本的な健康情報の探し方・選び方のコツを紹介。	2022.9.3	
2	市民講座：健康情報の探し方、選び方、使い方を学ぼう！ヘルスリテラシー講座（3月）	聖路加国際大学ヘルスリテラシー学習支援プロジェクト	聖路加国際大学客員研究員として市民講座を開催：講師として自分の健康を自分で創り守ために必要となる、基本的な健康情報の探し方・選び方のコツを紹介。	2023.3.4	
3	虎の門病院 看護師研修	虎の門病院	虎の門病院の看護師向けの研究活動研修 担当テーマ「文献レビュー」（講師として）	2022.6.24	
4	NPO法人からだフシギ からだ先生研修会	NPO法人「からだフシギ」	NPO法人からだフシギの「からだ先生」研修会 委員として運営参与。	2023.3.5	
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期	
1	日本看護科学学会	社会貢献委員会（委員）		2023年6月30日迄	
2	日本看護科学学会	和文誌専任査読委員		2024年3月31日迄	
3	聖路加看護学会	評議員		2023年6月30日迄	
4	聖路加看護学会	選挙管理委員会（委員長）		2023年6月30日迄	
5	東京都中央区	東京都中央区地域支えあいづくり協議体委員（会長）		2023年7月31日迄	
(3) ジャーナリズムでの発言					
	メディア等の名称	内容			年月
1	該当なし				
(4) その他					
	項目	相手方等	内容	期間	
1	地域貢献活動	NPO法人からだフシギ	子どもたちが、自分のからだをもっと大切にしようと思えるための活動（からだ先生の研修会、定例会議への参与）	2022.4～2024.3	
2	地域貢献活動	聖路加国際大学国際・地域連携センターPCC開発地域連携室 健康支援事業	健康支援活動の開催「健康情報の探し方、選び方、使い方を学ぼう！ヘルスリテラシー講座」と定例会議の運営	2022.4～2024.3	
3	地域貢献活動	聖路加国際大学大学院看護学研究科	聖路加国際大学の客員研究員として研究活動を行う：市民のヘルスリテラシーの研究活動、PCC教材開発を行う	2022.4～2024.3	
5. 学内運営					
	項目	内容			期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	情報図書委員会			2022.4～2023.3
2	大学広報活動	都立北園高校からの大学見学の依頼を、入試委員会に繋ぎ、学生案内・相談対応をした			2022.8.1
3	学長指定プロジェクトへの関与	長寿科学研究者支援事業申請書の提出（学内の他学科教員と共に）			2022.11-12
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）					
	受賞名	主催			受賞年月
1	市民と保健医療専門職が共に考えるPeople-Centered Careパートナーシップの教材作成への取り組み	聖路加看護学会			2022.10

7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	健康マスター普及認定講師（日本健康生活推進協会）更新：2026年10月末迄有効 市民のヘルスリテラシー向上を目指す取り組みを推進している事業団体が提示しているもの		